

いえしまDays

7月28日(水) ~ 7月31日(土)

IN 兵庫県立いえしま自然体験センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	オリエンテーション <島での過ごし方>	振り返り
2日目	オリエンテーション <魚の獲り方について>	自給自足生活	振り返り
3日目	自給自足生活	自給自足生活 いかだレース	振り返り
4日目	清掃	施設を出発・解散	

一日目: 台風の心配がありましたが、問題なく開催することが出来ました。電車、バスを乗り継いで、姫路港へやってきました。眼前に見える海に歓声が上がりました。船に乗ると、早速展望デッキに上がり、潮風を体いっぱい感じ、気持ち良さそうでした。島に到着し、頑張っって丘を越え、施設が見えてきました。昼食を済ませると、午後からはオリエンテーションを行いました。施設利用上の注意事項や、海遊び、島暮らしのルールの確認をしました。その後は[貝捕り]を行いました。見たことのない種類の貝ですが、「美味しそう〜。」という声が聞けました。捕った貝を使って味噌汁を作りました。初めて貝からとった出汁に感動されていたのが印象的でした。夜は翌日の島暮らしの予定を組みました。何が出来るのかワクワクしながら一日を終えました。

二日目: 二日間は自分達で考えた島暮らしが始まります。午前中からグループごとに異なっており、海釣りに行ったり、貝集めに行ったり、“ヤス”で魚を捕まえに行かれたりしました。ヤスで魚を捕らえる事は皆初めてで、シュノーケルの使い方、ヤスの注意事項を聞き、いざ本番!! 魚はそんなに甘くなく、簡単に成功はしません。しかし、根気強く海中を漂っていると「やったー!!」という声が浜中響き渡りました。捕まえた時の笑顔はとてもキラキラされていて、本当に嬉しそうだったのが印象的でした。今日の昼食から配給された食材と捕ってきた食材を使って料理を作っていきます。まだまだ不馴れな様子で、火起こしや切る作業に苦戦されていました。午後から釣りをされるグループがありました。こちら初体験の方が多く、釣り針や餌を付けるだけでも難しく、友達と協力して行っておられました。釣りをされている時、「あそこにいる!!」と自然と声を掛け合っておられる姿がとても微笑ましかったです。夕飯になると昼食の行程を参考に、動きに工夫が見られました。時間のかかるものから優先的に動かれたり、係に割く人員を考えたり、それだけでも大きな成長を感じました。今晚から振り返りをさせていただきました。自分達のグループは“楽しさ”、“笑顔”、“忍耐”、“頑張り”、“優しさ”、“声掛け”がどれだけ出来ていたかを数値で表し、グラフにさせていただきました。また各項目のMVPも決めていただきました。今回惜しくも選ばれなかった方は悔しそうにされていました。是非ともその気持ちを明日に繋げていただきたいと思います。



三日目： 朝から「〇〇しよー！！」という元気な声が聞こえてきました。朝食前からプログラムを一つ行おうとするグループがある程、やる気いっばいの様子でした。朝食を済ませた後は、各々分かれて活動を展開されました。[ストーンペインティング]をされるグループがありました。拾ってこられた石にこのキャンプの思い出を描き、それぞれを発表されていました。あるグループは調理時間が長くなってしまうので、11時前には料理を始めておられました。昼過ぎからは共通プログラムとして[いかだレース]を行いました。2グループに分かれていかだを組み立て、豪華食材をかけて争いました。作り方の基礎を施設の方から教えていただきましたが、それでも完全に作ることは出来ないため、いざ海に浮かべると部品が次々と離れていきました。それでも声を出し合って一生懸命漕がれている姿に、心から楽しんでいる事と本気で挑まれている姿勢に嬉しさと感動を感じました。夕飯までの時間は各々予定を変更し、存分に海遊びを行いました。夕飯はいかだレースで獲得した食材を活かしたメニューにされており、作る手間も大分と工夫、改善されていました。自然と役割を分担され、どのグループも美味しそうなメニューを完成させていました。夜の振り返りでは、いかだレースでの頑張りや炊飯の際の手際の良さなどについて話し合っていました。



四日目： 朝から帰る作業に勤しみました。荷物の整理、部屋の清掃、借用備品の洗いなど、やることが沢山あります。初日は何をしたらいいのか分からず、指示を待っている方が多く見受けられましたが、最終日の片付けの際は、率先してやることを見つけ、次々と完了させていく姿から確かな成長を感じました。特に鍋の焦げ付き取りは面倒で、終わりの見えない作業にも関わらず、嫌な顔一つせず、黙々と行われている様子は大人顔負けで、とても立派に感じました。全ての片付けが終わる頃にちょうど昼食の時間となりました。昼食は初めて最後の食堂利用です。誰もが一口入れた瞬間、これまでに見せたことのない笑みを浮かべ、「美味しい！！」と喜んで食べておられました。そして、ついに施設を離れる時がきました。行きはしんどそうな顔付きで丘を越えておられましたが、帰りは疲れは見えるもの、しんどそうにされている方はおられず、声を掛け合い、楽しそうにされて、逞しかったです。帰りの船内では休まれている方、最後まで元気に潮風を感じておられる方、各々過ごされていました。姫路港に到着し、各集合場所に戻られました。



<キャンプ総括>

昨年、コロナの影響で開催を見送った為、二年ぶりの開催となりました。いえしまのプログラムは“特にありません”。自分達でやることを考えられる為、『自由』です。自由という言葉は本当に残酷で、一見嬉しい言葉かと思いきや、行動、発言、一挙一動に『責任』が伴ってきます。その厳しさを体感していただくキャンプが【いえしまDays】です。キャンプ途中で責任放棄される方がおられました。すると自由が制限されます。このキャンプを通じて『自由=責任』を理解し、その難しさを痛感し、一段大人の階段を登っていただけただけではないでしょうか？また、来年一段上がるために是非ともご参加をお待ちしております。

(竹中 哲郎)